



学校だより

みどりの

学ぶ当事者 支える当事者 緑野小学校

○考え伝え合う子

○心豊かな子

○元気な子

○やりぬく子

令和5年12月1日

地域の力は子供たちの成長に

校長 遠藤 昌司

秋が足早に過ぎ去ってしまった感があり、朝晩の冷え込みが強くなってきています。気づけばもう12月。今年も残りひと月となりました。

先月、4年ぶりに「感謝の集い」がありました。コロナ禍で開催ができませんでしたが、普段、登下校を見守ってくださっている自治会の皆さん方にご来校いただき、日頃の感謝をお伝えする場を設けることができました。当日の様子は裏面をご覧ください。

また、同じく11月の終わりには「第39回緑野ふれあい祭」がありました。開催にあたっては、昨年度のPTA本部役員さんから準備に取り掛かれ、担当課との折衝や関係団体の皆さんとの調整などを重ねてこられました。4年ぶりの実施であることと合わせ、日程や実施形態を変更したことへの対応もあり、今年度のPTAふれあい祭委員会の皆さんのご苦勞も大変なものでしたが、好天のもと、無事に開催に漕ぎ着けることができました。「緑野ふれあい祭」は大和市の主管事業の一つで、「親子のふれあいや子どもと地域住民との交流を深める。」ことを目的とした「ふれあい広場」に位置付けられています。「緑野ふれあい祭」のルーツをたどっていくと今から40年近く前にまで遡ることになり、市内各地区の中でも長く続いています。今年度は、委員会の皆さんがブランクを経た中でまずは開催することを第一とされてきましたが、次年度からも持続が可能でより良いものとなっていくことでしょう。

学校でも遠足を含め、行事がたくさんありました。5年生は宿泊自然教室で愛川ふれあいの村へ行ってきました。遠足などのバス利用の際は、いつも「ユニプレス」さんのご好意で敷地をお借りして乗り降りをしています。出発当日の朝、学校からユニプレスさんへ向かって歩いているところ、大人数ゆえ道を塞ぐこととなりました。出勤途中の方と重なってしまい、朝の忙しい時間にご迷惑をおかけしてしまうなど恐縮していると「大丈夫ですよ。遠足ですか？」と穏やかに返していただきました。おそらくこの地域の方なのだと思います。

登下校を見守ってくださっている皆さん、ユニプレスさんなど地域企業・施設の方、いろいろな形でご迷惑をおかけすることもある学校近隣の方、全て地域の皆さんだと思います。この地域を今、担ってくださっている皆さんに見守られながら、緑野小の子供たちは地域を担う未来の人材として育っていくことができます。

月末には年の瀬を迎えます。子供たちは冬季休業中に、ご家族とゆっくり過ごすだけではなく、親戚の方や地域の皆さんと触れ合う機会もあるかもしれません。普段とは違った時間の中で、また一回り成長してくれることでしょう。